

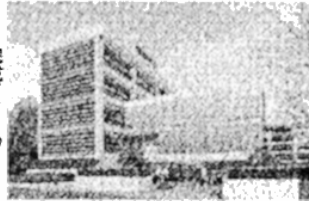
等々力中・高新校舎が起工

五島育英会

10年8月の完成目指す

設計⇨東急設計コンサルタント、五島育英会 施工⇨東急建設

五島育英会が、東京都市大学等々力中学校・高等学校（東京都世田谷区等々力8の10の1）で進める新校舎建設の起工式が13日、現地で行われた。



完成イメージ

設計を東急設計コンサルタントと五島育英会、施工を東急建設がそれぞれ担当。10年8月の完成を目指す。起工式では、東急設計コンサルタントの急設計コンサルタントの代表者として、五島育英会の山口裕啓理事長と東京都市大学等々力中



鎌を入れる下永田社長

新校舎は、建築面積約1673平方メートル、RC造地上5階建て延べ約6320平方メートルの規模。主に



鎌を入れる山口理事長

1校舎（延べ5476平方メートル）を全面改修し、特別教室などを新たに配置する。工期は10年8月から11年3月末までを予定。第1校舎改修後、中学の教室などがある第2校舎（延べ2307平方メートル）を解体し、グラウンドを整備する。工期は11



鎌を入れる海老原校長

年4月から同年8月までを予定している。起工式後の直会で海老原校長は「等々力中・高は今年で創立70周年を迎え、抜本的な改革が必要だと考えている。その改革の目玉の一つが新校舎建設であり、やがて日本を担う若者を教育する場としたい」とあいさつした。下永田社長は「今後の発展に向け、新しい設備を充実させた。緑と自然の多い等々力の高級住宅地にふさわしい、ゆとりのある学業の場を提供したい」と話した。飯名



鎌を入れる飯名常務執行役員

の無事故は当然のこととして、学生の授業中に工事を進めていくことから、振動や騒音には十分に注意をして工事を進めていきたい」と述べた。



授業中の学生に配慮
木住野龍也所長
（東急建設）の話

「授業をしている学生がいる中で、工事による振動や騒音に十分配慮したい。また近隣への配慮も同様にしていきたい」

無断転載禁止 ・ 著作権は日刊建設工業新聞社に帰属します
転載承認済み